



第9期(2008年5月期) 中間決算説明会

2008/01/17

modulat

モジュレ株式会社 (ヘラクレス : 3043)

<http://www.modulat.com/>

目次

- ✓ 総括
 - ✓ 決算報告 - 2008年5月期 中間期実績 -
 - ✓ 今期の計画
 - ・2008年5月期の事業計画ハイライト
 - ・売上高の推移 ・売上総利益の推移
 - ・経常利益の推移 ・その他指標の推移
 - ・課題とその対応
 - ✓ お問い合わせ

 - 補足資料—
 - ✓ 基本概要
 - ・会社概要 ・沿革
 - ・社名の由来 ・モジュールの共有理念
 - ✓ ビジョン - モジュールVISION-
- ✓ ビジネスモデル
 - ・モジュール前とモジュール後(サービス前とサービス後)
 - ・主力事業:ITASとは
 - ✓ 成長ドライブ
 - ・成長ドライブ1.「収益」アドバンテージ
 - ・成長ドライブ2.「事業ドメイン」アドバンテージ
 - ・成長ドライブ3.「マーケット」アドバンテージ
 - ✓ 中期的IT分野の展望予測
 - ✓ 5カ年事業計画
 - ・5カ年「ブレークスルー」戦略
 - ・5カ年事業計画(売上、利益推移とグラフ)
 - ・今後の課題
 - ✓ 前期実績



2008年5月期 中間期総括

modulat

2008年5月期 中間期総括 1/2

◆ 期首予想は、中間期マイナス計画

- 中長期的な成長のために、投資増加(人員増含む)を見込んだ計画。

◆ 期首予想との比較

- お客様数**66社**(対計画進捗率**94.3%**)・年間継続契約額**649**百万円(対計画進捗率**92.7%**)。
- ITサービスが好調に推移。進捗率**55%**超。
- 効率化により販管費の使用が抑制されたことと、投資計画が下期にずれこんだための販管費未使用により利益計上。
- パッケージ型サービス(ITAS-Std)は資本・業務提携等を中心に計画していたが、自社で堅実に行っていく方向性へ。

◆ 前年同期との比較

- ITサービスが**74.6%**増。既存顧客との継続的なサービス契約が引続き好調。
- 原価の人員増(前年同期比**4名**増)とその他経費の増加により、総利益率は減少しているが、期首予想には折込み済み。

2008年5月期 中間期総括 2/2

◆ パッケージ型サービス(ITAS-Std)は下期より本格的に取組みを開始

- 自社で堅実に行っていく方向性を選択。
- 専門部署を新たに設置する計画。

◆ 通期予想

- 下期には、今期計画されていた投資の実施を予定。
- 既存サービスは堅調に推移しているため、通期予想は据置き。

◆ 5カ年事業計画

- オーダーメイド型サービスとパッケージ型サービスは、計画通り推進。
- 周辺領域拡大のための協業・事業提携等とM&Aについては、上期に多くの企業と検討を行っており、11月のアクロネット社への資本参加はそのひとつ。
- 日本有数のITアウトソーサーを目指すという目標に変更なし。

2008年5月期 中間決算ハイライト

- 売上高・営業損益・経常損益・当期純損益ともに期首予想を達成
- 業務の効率化や自動化の効果により、計画を上回り順調に推移

(単位:百万円)

	08/05月期 中間期実績		08/05月期 中間期期初予想		中間予想 対比 増減額
	金額	比率	金額	比率	
売上高	863	100.0%	851	100.0%	12
営業損益	10	1.2%	-31	-	41
経常損益	7	0.9%	-38	-	45
当期純損益	3	0.4%	-21	-	24

08/05月期 通期予想		通期予想 対比 達成率
金額	比率	
2,584	100.0%	33.4%
163	6.3%	6.1%
152	5.9%	4.6%
87	3.4%	3.4%



2008年5月期 中間決算報告

modulat

損益計算書

- ◆ ITサービス売上が、多年度にわたる大型サービス提供により好調
- ◆ 商品売上は、顧客事情による案件の遅延等により若干低調に推移

(単位:百万円)

	08/5期 中間	対前中間期比	07/5期 中間	(参考)07/5期
売上高	863	2.8%	840	2,330
(ITサービス売上)	495	74.6%	283	710
(商品売上)	368	-33.8%	556	1,620
売上総利益	171	-8.0%	186	458
売上総利益率	19.9%	—	22.2%	19.7%
販売管理費	161	0.0%	161	319
販管費比率	18.7%	—	19.2%	13.7%
営業利益	10	-58.6%	25	138
営業利益率	1.2%	—	3.0%	6.0%
経常利益	7	-77.3%	33	143
経常利益率	0.9%	—	4.0%	6.2%
当期純利益	3	-81.6%	17	81
当期純利益率	0.4%	—	2.1%	3.5%

貸借対照表

- ◆ 売掛金の増加と投資その他の資産の増加により、現預金が減少
- ◆ 投資有価証券の取得により、投資その他の資産は増加
- ◆ 上記により、総資産は減少(自己資本比率49.1%)

(単位:百万円)	08/5期 中間		(参考)07/5期			08/5期 中間		(参考)07/5期	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
流動資産	560	48.4	658	54.7	流動負債	565	48.8	596	49.5
現預金	306	26.5	455	37.8	買掛金	126	10.9	76	6.3
売掛金	177	15.3	125	10.4	短期借入金	222	19.2	222	18.5
たな卸資産	59	5.1	51	4.3	その他	215	18.7	297	24.7
その他	17	1.5	26	2.2	固定負債	13	1.2	21	1.8
固定資産	597	51.6	546	45.3	負債合計	578	50.0	618	51.3
有形固定資産 (減価償却累計額)	469 (95)	40.6	502 (49)	41.7	純資産	579	50.0	587	48.7
無形固定資産	9	0.9	12	1.1	資本金・ 資本剰余金	408	35.3	408	33.9
投資その他の 資産	117	10.1	31	2.6	利益剰余金 他	170	14.7	179	14.8
総資産	1,158	100.0	1,205	100.0	負債・純資産 合計	1,158	100.0	1,205	100.0

キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 売上債権の増加、前受金の減少等による使用
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 投資有価証券の取得による使用
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 配当金の支払等による使用

(単位:百万円)

区 分	08/5期 中間	(参考)07/5期
営業キャッシュ・フロー	△ 27	427
投資キャッシュ・フロー	△ 93	△ 381
財務キャッシュ・フロー	△ 27	235
現金及び現金同等物の期末残高	306	455

その他指標の推移

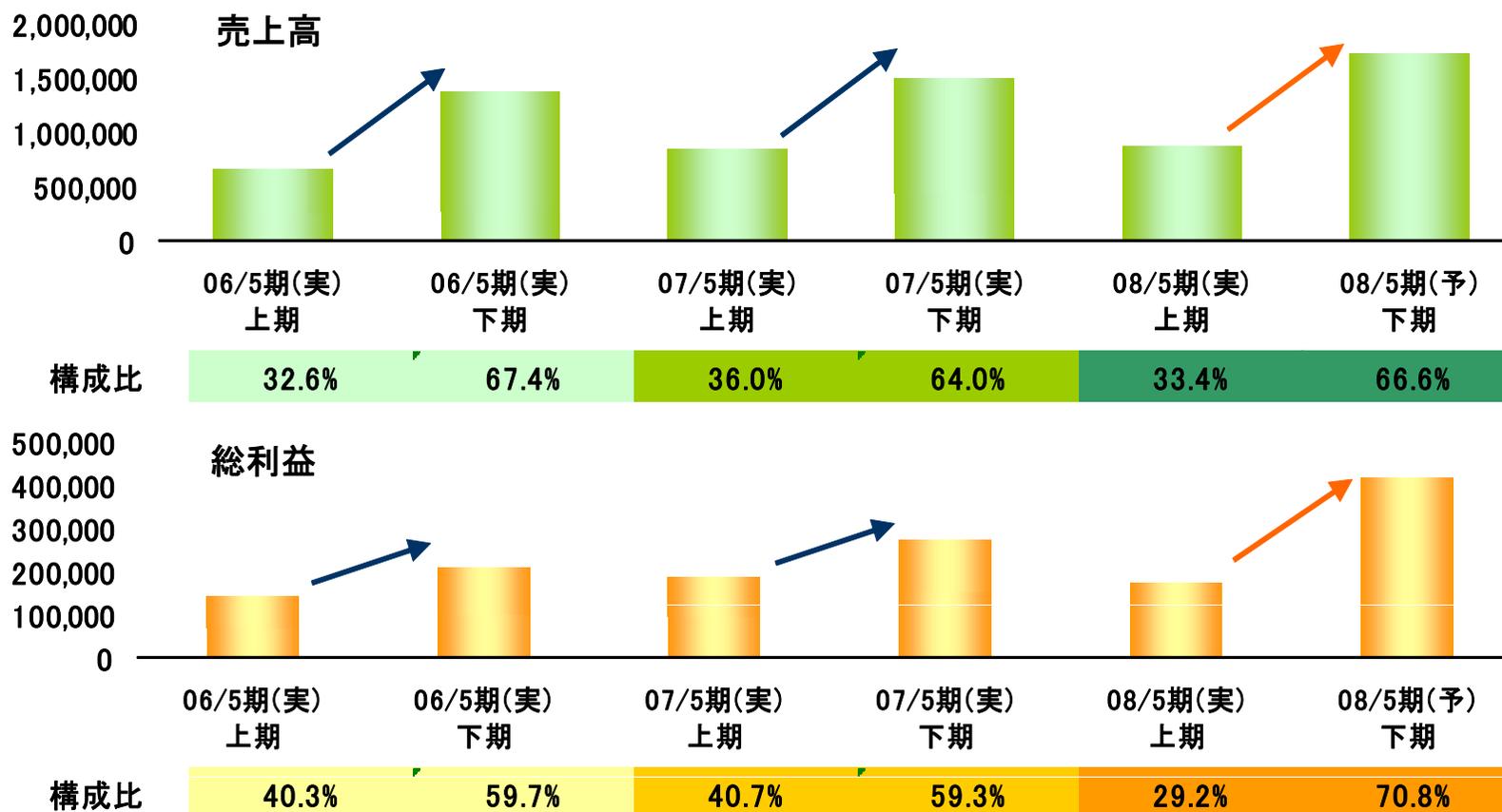
- ◆ お客様数が順調に増加
- ◆ 年間継続契約額も多年度にわたる大型サービスの提供により増加

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期 中間	08/5期(予)
お客様数(社)	23	28	28	35	51	66	70
対前年	43.8%	21.7%	0.0%	25.0%	45.7%	29.4%	37.3%
年間継続契約額 (百万円)	--	217	258	343	558	649	700
対前年	--	--	18.9%	32.9%	62.7%	16.3%	25.4%
社員数(人)	24	30	32	36	52	51	60
対前年	41.2%	25.0%	6.7%	12.5%	44.4%	-1.9%	15.4%

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期 中間	08/5期(予)
経常利益率	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	0.9%	5.9%
EPS (円)	4,893.05	1,574.06	2,720.13	6,853.98	5,970.68	234.44	6,364.00
配当性向	4.2%	20.0%	20.0%	16.4%	24.8%	--	25.0%

下期偏重傾向について

◆ 前事業年度と同様に推移する見込み
 (売上が12~1月、3~4月の顧客の事業年度の変わり目に偏る為)





2008年5月期 事業計画

modulat

Copyright (C) 2007 modulat Inc. All Rights Reserved

2008年5月期の事業計画ハイライト

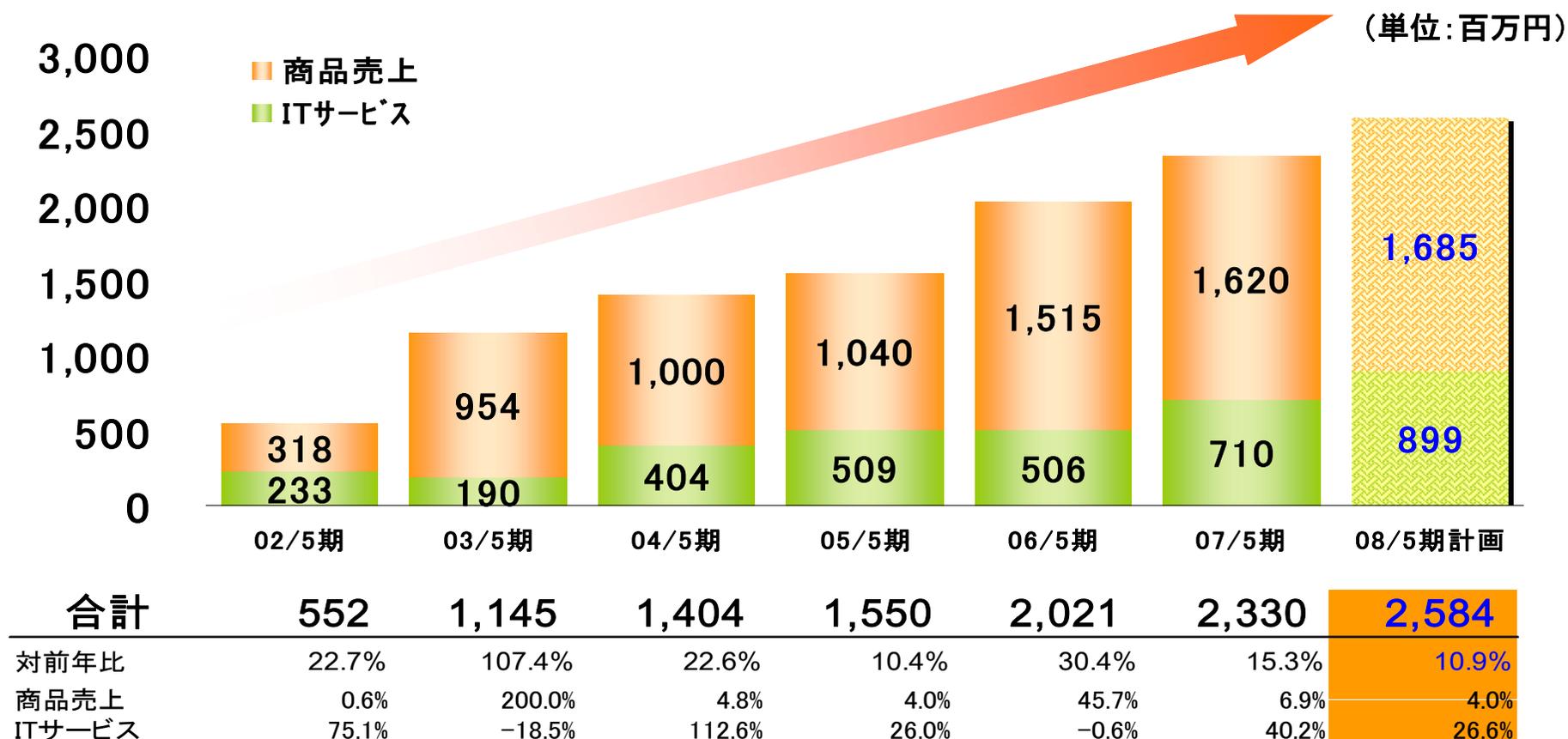
中期計画で 「日本有数のアウトソーサーを実現可能なポジション」を目指す

- ◆ 今期は中期計画達成のための投資を積極的に行う
(人員育成、新サービス専門組織、本業強化のM&A、事業提携や資本提携の促進、全国展開、社内システム等)
- ◆ 属人性の排除と効率化やシステム化を追求した結果、経常利益率は3年で3倍に
(04/5期2.0% → 07/5期6.2% → 08/5期(予)5.9%)
今期投資による利益率低下は一時的なもの。効率化の推進により利益率向上が重点目標。

(単位:百万円)	2007年5月期実績	2008年5月期	
	通期	通期計画	対前年
売上高	2,330	2,584	10.9%
売上総利益	458	587	28.1%
営業利益	138	163	18.1%
経常利益	143	152	6.3%
EPS (円)	5,970.68	6,364.00	—

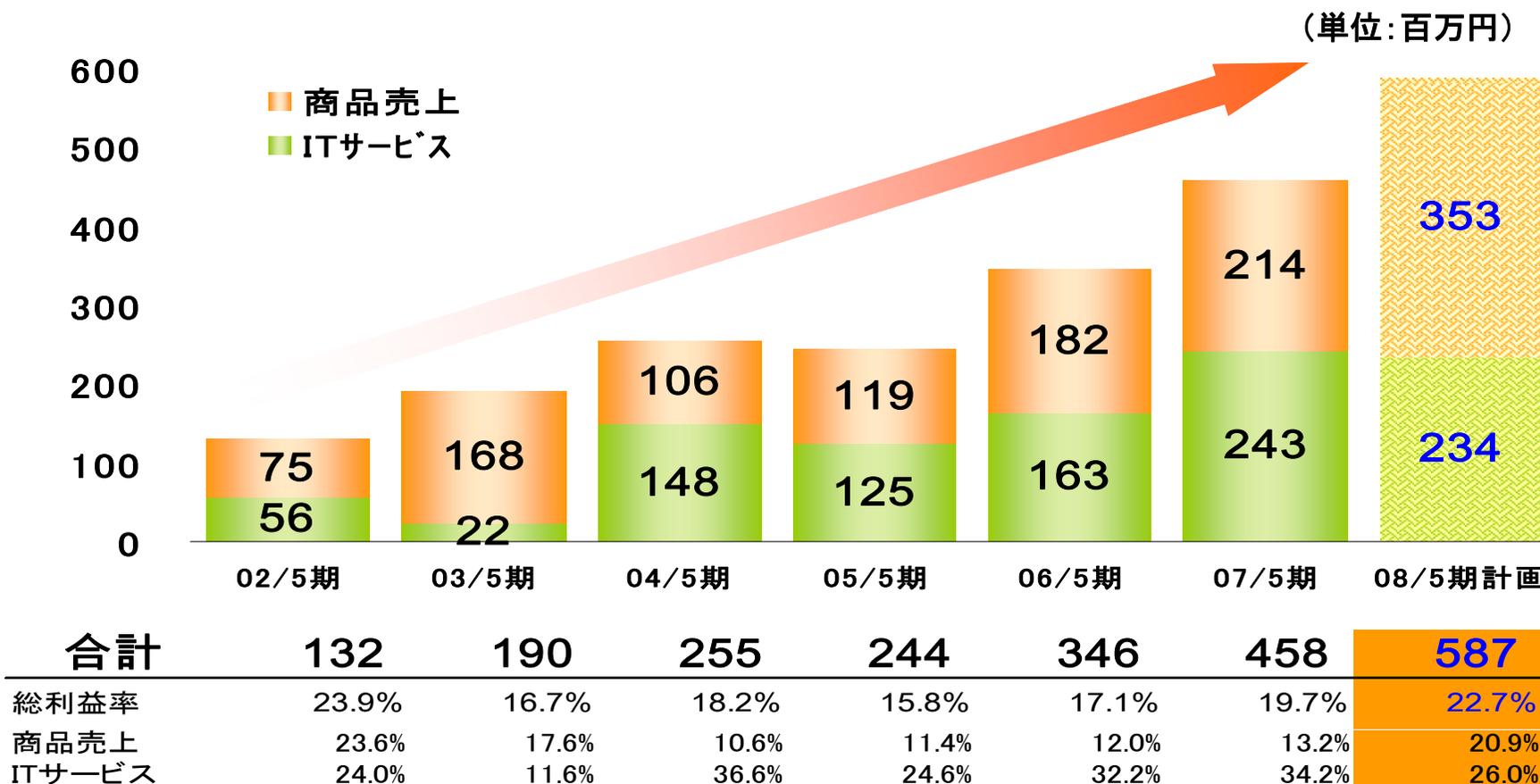
売上高の推移

- ◆ 既存サービスは堅調を維持し、効率化を徹底。その中での新規顧客／案件の発掘に注力
- ◆ 新サービスの開始に全力を注ぐが、売上貢献は来年度から
- ◆ 8期連続の増収を目指す



売上総利益の推移

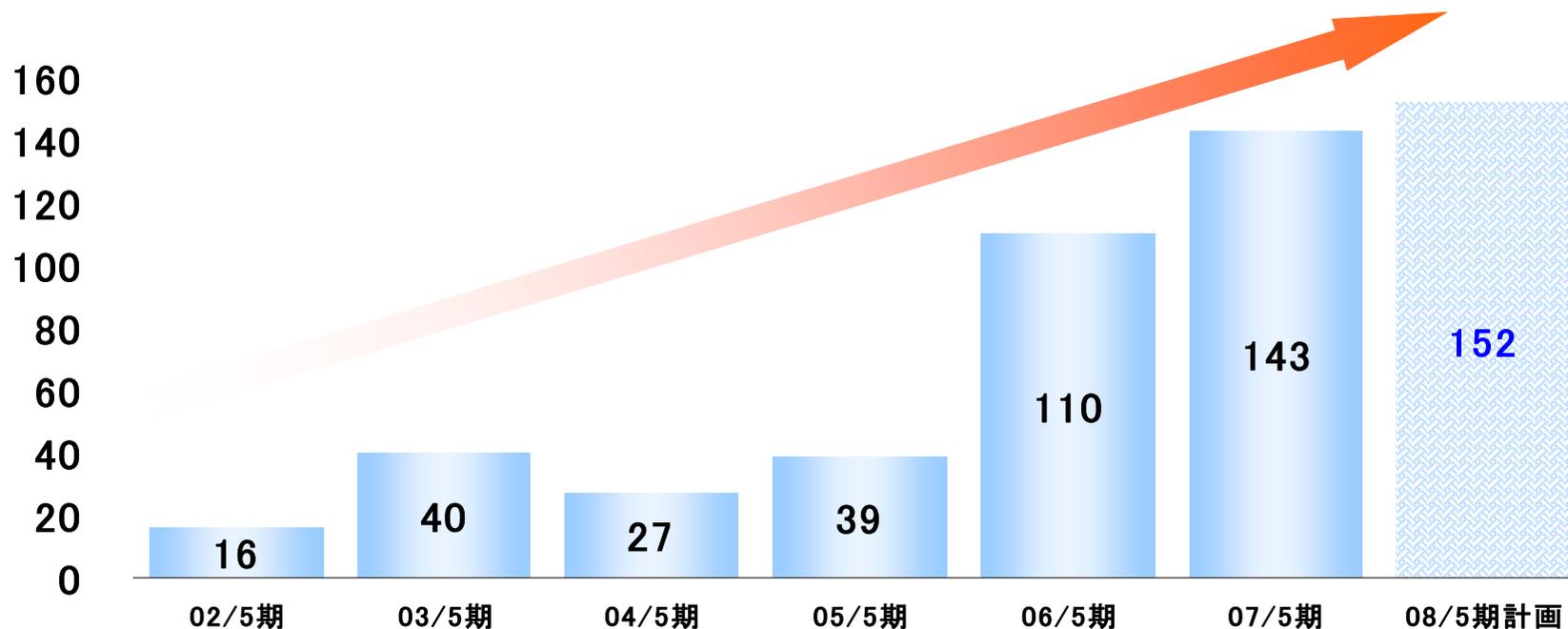
- ◆ 今年度は事業拡大基盤、効率化徹底の為の投資を行う為に、ITサービスの利益率は一時的にダウン
- ◆ その分、商品売上进行を積極的に行い大型優良案件の獲得を目指す
(1億円超の案件:前年度2件→今年度4件へ)
- ◆ 結果、対前年で20%超増を目標とする



経常利益の推移

- ◆ 今年度の積極的投資の結果、経常利益は微増計画
→ 中期的成長の為（詳細は中期の事業方向性にて）

（単位：百万円）



合計	16	40	27	39	110	143	152
経常利益率	2.9%	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	5.9%
対前年比	—	150.0%	-32.5%	44.4%	182.1%	30.0%	6.3%

その他指標の推移

- ◆ 顧客数は既存サービスの増加＋新サービスの初期顧客で40%増計画
- ◆ 年間継続契約額も既存サービスのみ(新サービスは来期から貢献)を考慮し堅調計画
- ◆ 配当性向は当社の配当性向重視方針を今後検討予定

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期(予)
顧客数(社)	23	28	28	35	51	70
対前年	43.8%	21.7%	0.0%	25.0%	45.7%	37.3%
年間継続契約額 (百万円)	--	217	258	343	558	700
対前年	--	--	18.9%	32.9%	62.7%	25.4%
社員数(人)	24	30	32	36	52	60
対前年	41.2%	25.0%	6.7%	12.5%	44.4%	15.4%

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期(予)
経常利益率	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	5.9%
EPS(円)	4,893.05	1,574.06	2,720.13	6,853.98	5,970.68	6,364.00
配当性向	4.2%	20.0%	20.0%	16.4%	24.8%	25.0%

課題とその対応

		今年度の目標		
		既存サービス (ITAS-プレミアム) の推進	新サービス (ITAS-スタンダード) の開始	全社的な 現状業務の 効率化推進
業務的な課題対応	お客様担当部門と技術部門の連携強化のための組織変更	●		●
	既存サービスの新規営業部門の強化	●		●
	新サービス専門部隊		●	
	サービス及び企業の認知度向上とそれによる見込顧客発掘の効率化	●	●	●
	見込顧客アプローチの効率化手法の構築	●		
	各サービスノウハウの属人性の減少			●
	社内システム強化			●
	社員の基本的能力を継続的に向上させる仕組みの構築	●	●	●
	個人の貢献度の把握とその褒賞制度の確立	●	●	●
	自社サービス網の全国展開開始	●	●	●
事業提携や資本提携による営業促進		●		
本業特化のM&A	●		●	

お問い合わせ

【IR窓口】

ストラテジック プランニング サービス

E-mail : ir@modulat.com

Tel : 03-5575-5721

Fax : 03-5575-0633

<http://www.modulat.com/>



<本資料お取扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。



補足資料

modulat



基本概要

modulat

会社概要

(2007年11月末日現在)

会社名	モジュレ株式会社
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目10番9号
代表取締役	松村 明
設立	1999年9月
事業内容	ITアウトソース事業
資本金	254,219千円
売上高	2,330百万円(2007年5月期)
従業員数	51名(2007年11月末日現在)
決算日	5月31日
上場日	2006年6月20日
上場証券取引所	大証ヘラクレス(グロース)、証券コード3043
発行済株式数	13,700株
主要株主	松村 明(60.1%)
主要得意先	明治乳業株式会社、三菱鉛筆株式会社、高千穂電気株式会社、株式会社東武百貨店、カルピス株式会社、株式会社アーバンコーポレイションなど

沿革

99年9月 設立

00年4月 「企業向けのシステム保守サービス」開始

01年1月 モジュール・インターネットサービスセンター開設

6月 「PCシステム**統合サービス**(ITAS)」開始

02年2月 「モジュール・リペア&セットアップセンター」開設

7月 「モジュールPCヘルプセンター」開設

03年6月 「システム**製品調達代行**サービス(ITAS-Plus)」開始

04年1月 「サポート付きレンタルPCサービス」開始

4月 本社移転

6月 「システム**基盤構築**サービス(ITAS-Plus)」開始

06年6月 **大証ヘラクレス**上場

11月 「ソフトウェア開発センター」開設

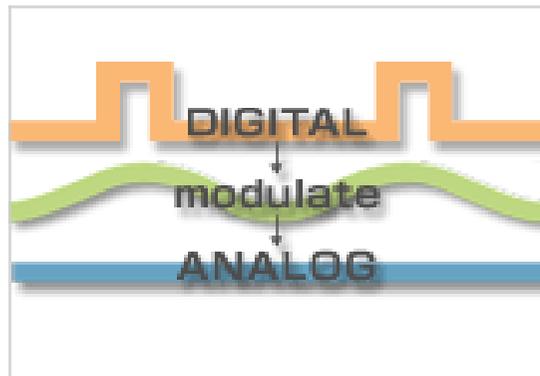
07年11月 株式会社アクロネット 株式取得

社名の由来

モジュレって？ What's modulat?

私たちの仕事は、お客様のために、「IT／情報技術」と「自由な発想」を基軸として、生活や非効率や無駄を、効率が良い状態／心地いい状態へ変える(modulate)事です。

We modulat your business to success, your life to fun!



■アナログからデジタルへ

“modulat”の語源は“modulate(=変調)”・・・ITの世界では、アナログ信号とデジタル信号の変換を指します。一般的にはモデム(アナログとデジタルの変換機器)が有名です。語源のように”リアルな社会(アナログ)”と”コンピューターやインターネット(デジタル・バーチャル)”をつなぎ合わせる役割・・・すなわち、いつも人間側の視点で情報技術を利用し、世の中から無駄をなくしていくお手伝いをしたい！と考えております。

モジュールの共有理念

責任ある自由の共存

Be responsible, be liberty

私たちモジュールのメンバーは、ビジネスの責任を果たしながら、
お互いの自由を尊重し仕事を進めています。
情報技術と自由な発想を基軸に社会とお客様に貢献し、
私たち自身も高め、お互いに幸せになること、
私たちはそんな良質なビジネスチームであり、
そして常にそうありたいと考えています。



私たちは権限譲渡を進め、
自律的に仕事を行える環境、また、
社員が働き方を選択できる多様性
に準じた環境を目指しています。
この新しいオペレーションモデルに
よる優秀な人材の確保と活躍が
業績向上に寄与しています。





ビジョン

modulat

Copyright (C) 2007 modulat Inc. All Rights Reserved

モジュールVISION

小型コンピュータ* の
基盤サービス でNo.1

モジュ
レ
VISION

日本有数の「ITアウトソーサー」

* 小型コンピュータ = パソコンやパソコンサーバー



個別環境

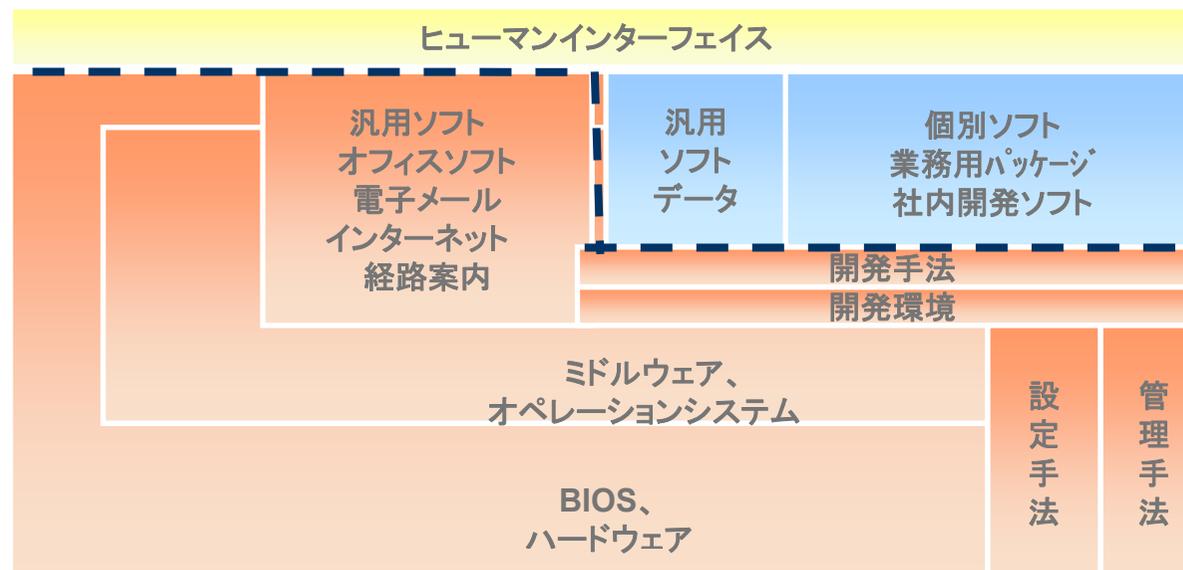
競争力を高める**独自の**仕組み



基盤環境

個別環境を支える**ITインフラ**

標準化が可能！



個別
環境
サー
ビス

主に**独自の**
業務用システム

PC/PCサーバーシステムの構成モデル



ビジネスモデル

modulat

Copyright (C) 2007 modulat Inc. All Rights Reserved

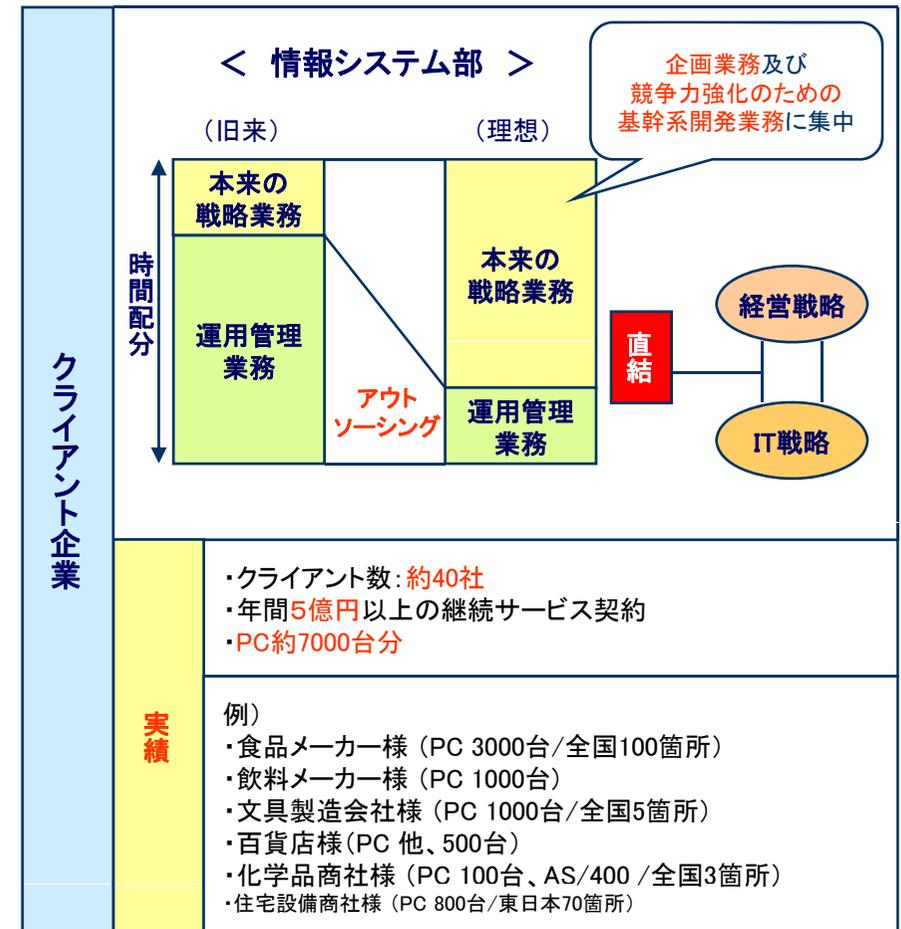
ビジネスモデル

事業内容 = ITアウトソース事業

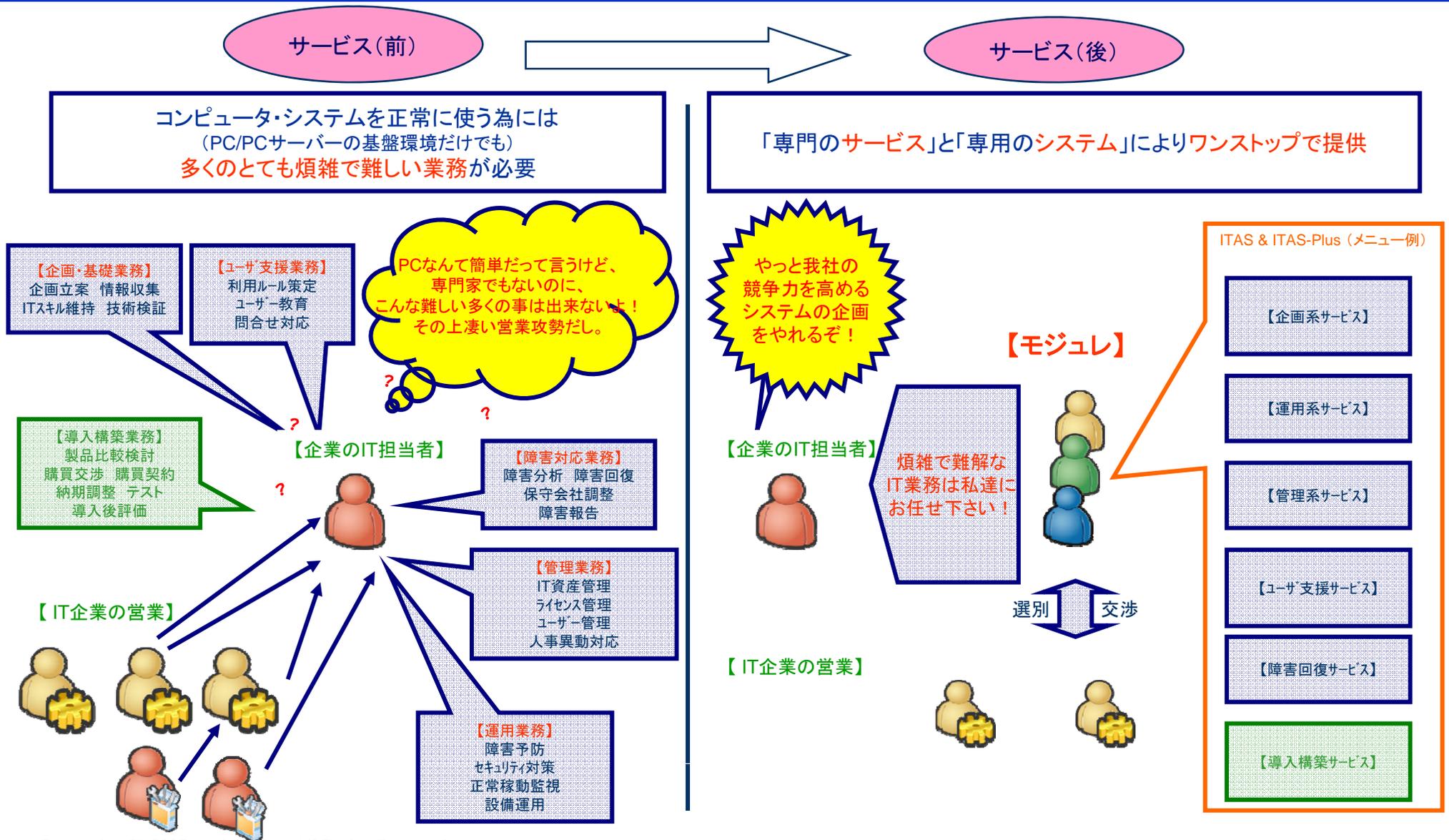
企業はシステム部門の運用管理業務をモジュールへアウトソーシング

ITAS
(アイタス)

		ITサービス (ITAS)	
モジュール	利用技術	PCやソフトはメーカーが製造。しかしそのままでは稼動しない。何を？ どう？ 組み合わせて、使い易く、安定させるか？	
		企画	・立案支援 ・情報収集 ・ITスキル維持 ・技術検証
		運用	・障害予防・セキュリティ対策 ・正常稼動監視 ・設備運用支援
		障害回復	・障害分析 ・障害回復 ・保守会社調整 ・障害報告
		ユーザー支援	・利用ルール策定 ・ユーザー教育 ・問合せ対応
		管理	・IT資産管理 ・ライセンス管理 ・ユーザー管理 ・人事異動対応支援
	導入構築	・製品比較検討 ・購買交渉 ・契約支援 ・納期調整 テスト ・導入後評価	
商品	小型コンピューター		
	パソコンやPCサーバー (殆どの企業で使用)		



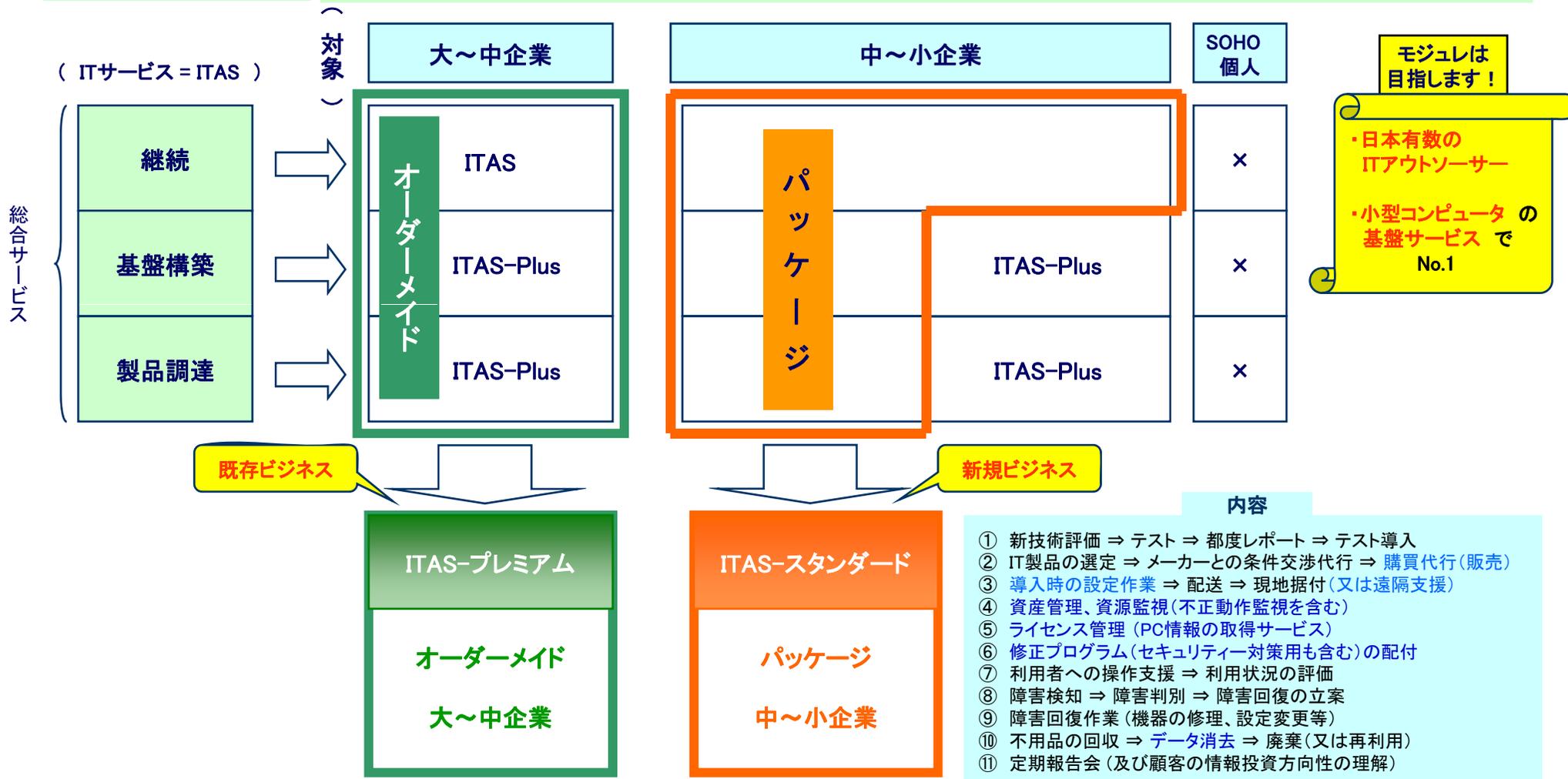
モジュール前とモジュール後(サービス前とサービス後)



主力事業:ITASとは

主力事業
「ITAS」とは

対象 = 企業の情報システム部門 業務 = PC/PCサーバー関連業務
専門スキルとノウハウで効率よく代替(アウトソース)する統合的なサービス事業





成長ドライブ

modulat



<3つの成長ドライブ>

成長ドライブ1. 「**収益**」アドバンテージ: 2重収益構造による安定成長

成長ドライブ2. 「**事業ドメイン**」アドバンテージ: 大手との住み分け

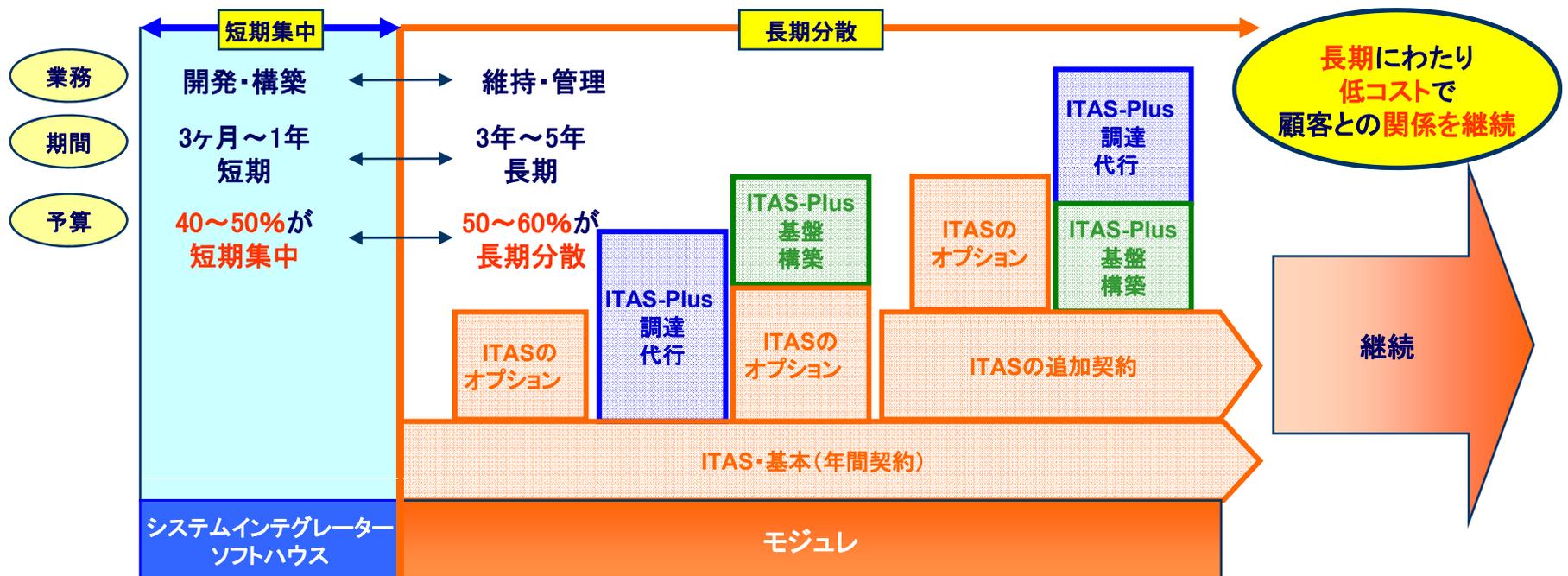
成長ドライブ3. 「**マーケット**」アドバンテージ: 拡大を続けるITマーケット

modulat

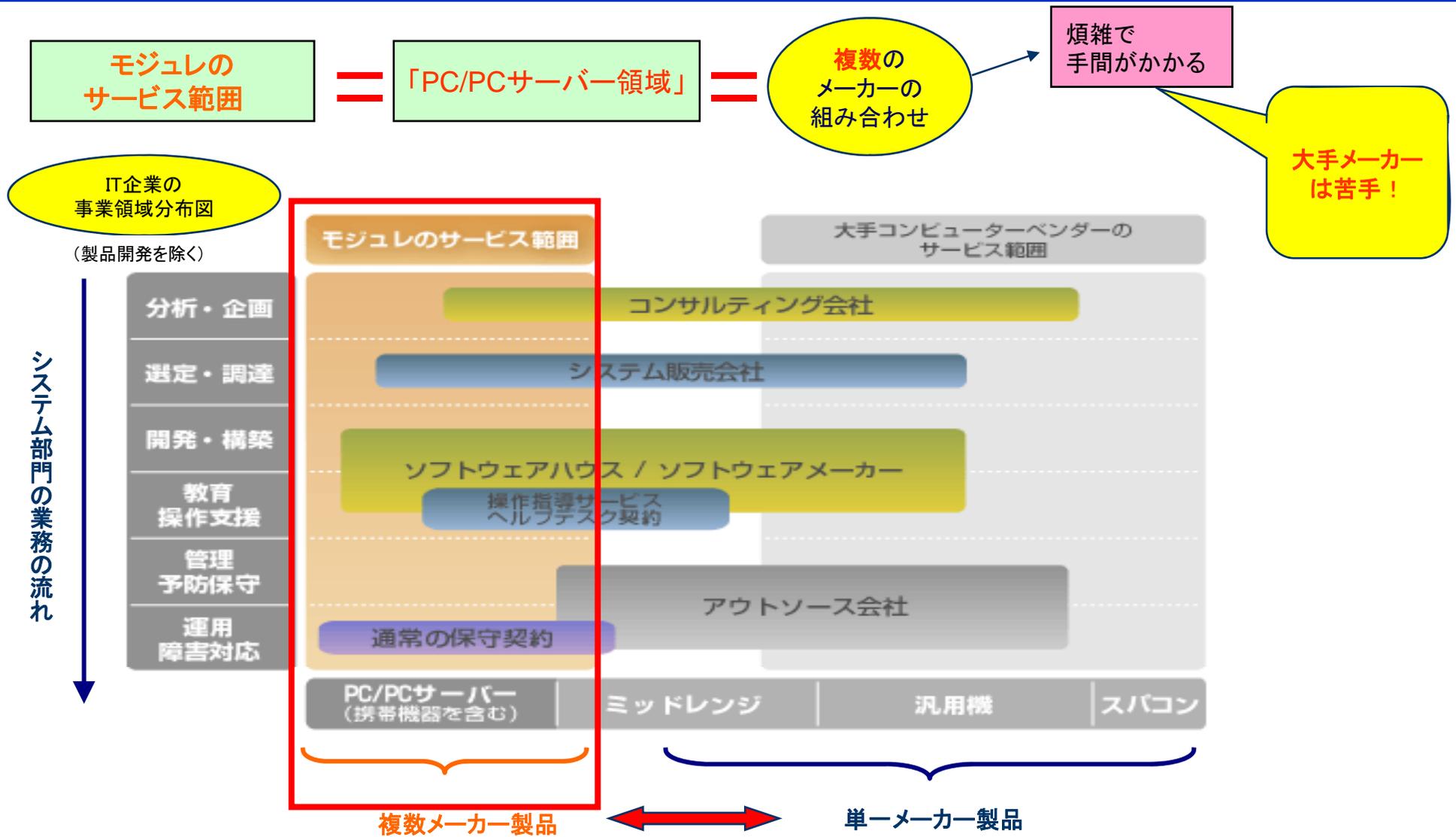
ドライブ1. 「収益」アドバンテージ(2重収益構造による安定成長)



(ITシステムの期間投資モデル)



ドライブ2. 事業ドメインアドバンテージ(大手との住み分け)



ドライブ3. 「マーケット」アドバンテージ(拡大を続けるITマーケット)

ITマーケット ⇒ 拡大！ うちITアウトソーシングマーケット ⇒ 5年間で6,000億円拡大！

IT市場	<2006年>	11兆9,948億円	⇒	<2011年>	13兆787億円
ITサービス市場	<2006年>	4兆8,737億円	⇒	<2011年>	5兆7,659億円
ITアウトソーシング市場	<2006年>	1兆8,822億円	⇒	<2011年>	2兆4,741億円

拡大

拡大

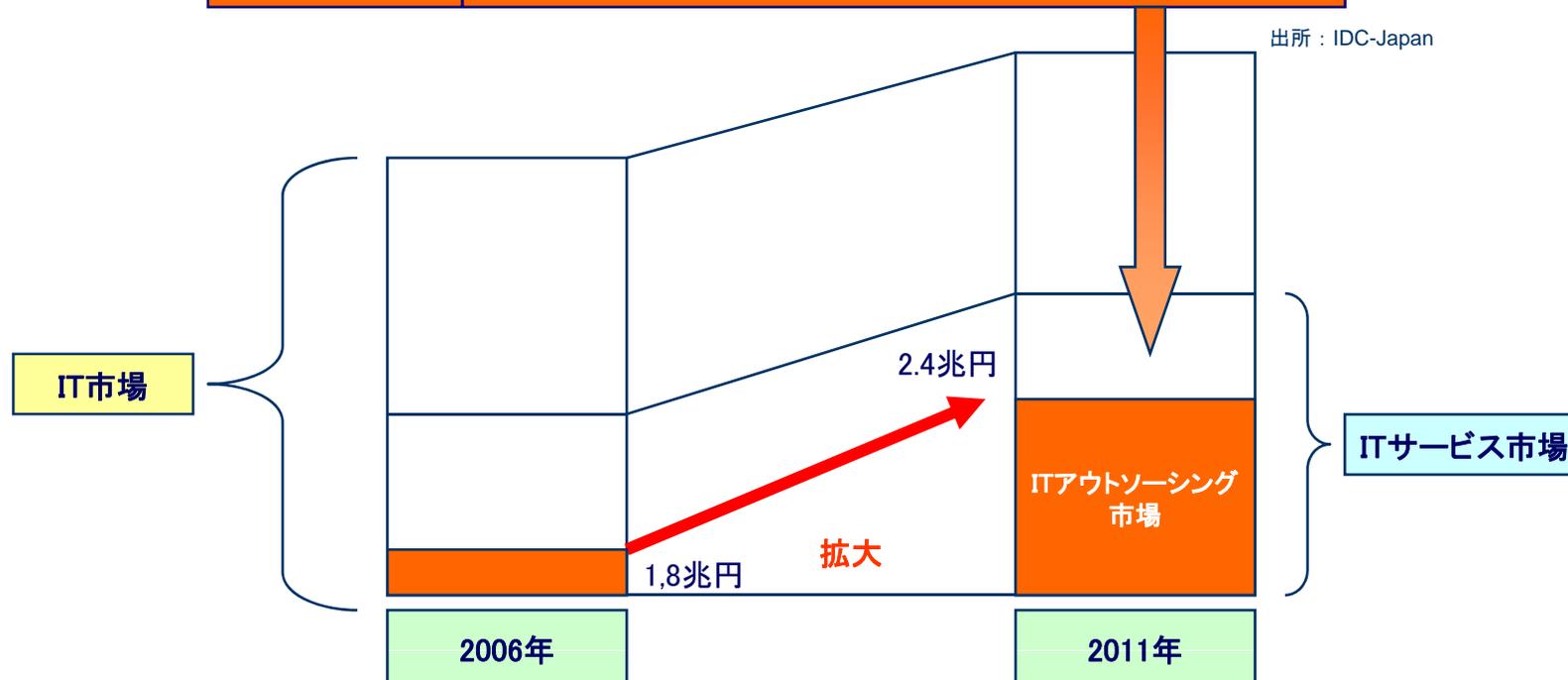
拡大

進出可能！

ビジネス・デスクトップ
周辺ビジネスなど

現在のモジュールの
いるマーケット

出所：IDC-Japan





5力年事業計画

modulat

Copyright (C) 2007 modulat Inc. All Rights Reserved

「ブレイクスルー10」について

「ブレイクスルー10」とは、
「モジュレVISION」実現の為に設けられた5カ年事業計画

2012年5月期  経常利益  10億円

1. 上場後(2006年6月20上場)、はじめてとなる5カ年事業計画の策定
 - ・上場後この1年間は経営基盤の再構築と成長戦略実現の為に
コア・コンピタンスならびに事業戦略検討期間
2. 設立以来、日本有数のITアウトソーサーを目指し、堅実にかつ着実に成長  日本有数のITアウトソーサー 目標
 - ・8期連続増収、4期連続増益見込(今期も増収・増益の見込み)
3. 安定成長の見込めるビジネスモデル
 - ・ストック型、スポット型、そのミックスによる安定したビジネスモデル
4. 3つの成長ドライバー(収益、事業ドメイン、マーケット)を根拠とし、有望視される将来性
5. 事業提携、M&A等により更なる成長を加速し、企業価値向上をめざす

5カ年「ブレイクスルー」戦略

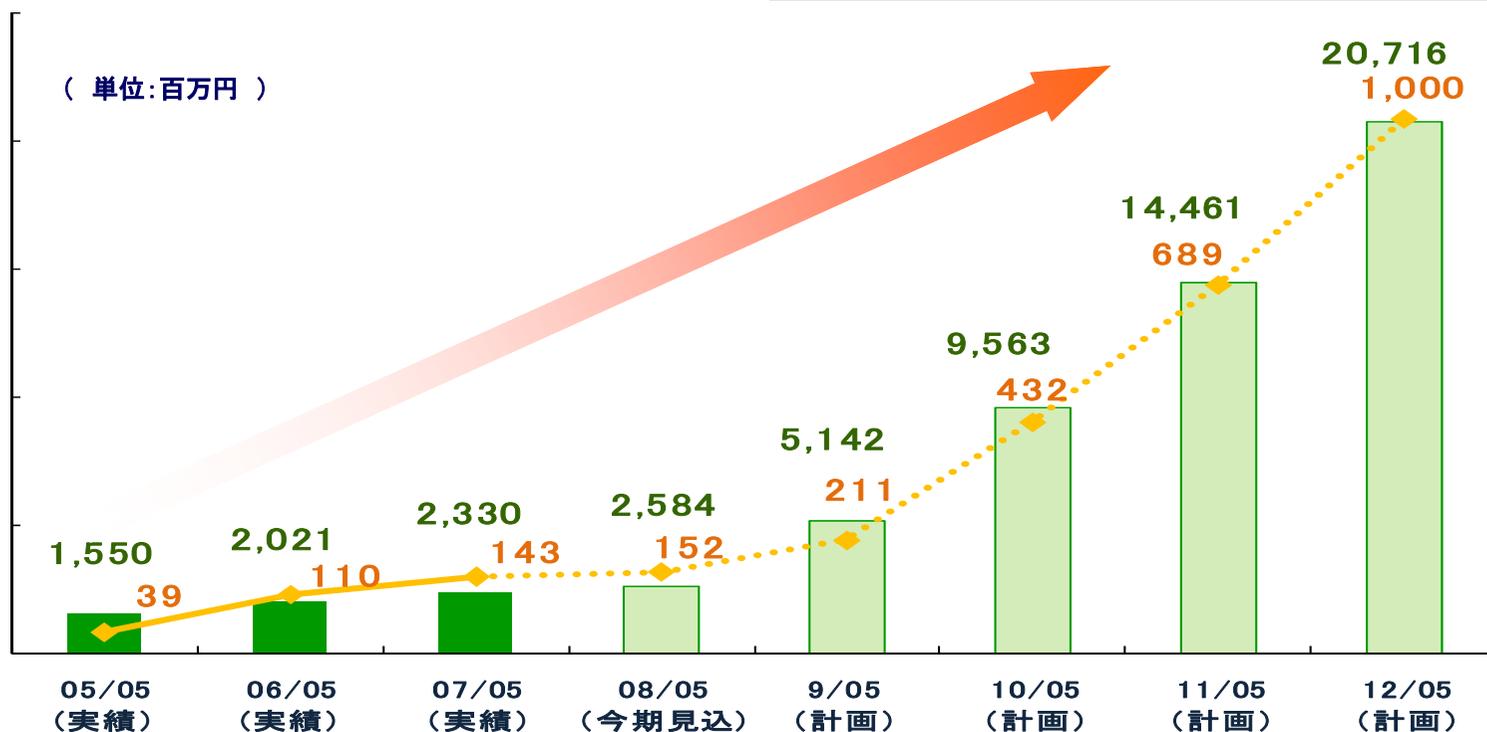
単位: 百万円	08/05 (今期見込)			09/05 (計画)			10/05 (計画)			11/05 (計画)			12/05 (計画)		
	金額	前年比	増減	金額	前年比	増減	金額	前年比	増減	金額	前年比	増減	金額	前年比	増減
売上高	2,584	110.9%	254	5,142	199.0%	2,558	9,563	186.0%	4,421	14,461	151.2%	4,898	20,716	143.3%	6,255
経常利益	152	106.3%	9	211	138.8%	59	432	204.7%	221	689	159.5%	257	1,000	145.1%	311
社員数 (人)	60	115.4%	8	169	281.7%	109	301	178.1%	132	393	130.6%	92	478	121.6%	85

戦略	体制強化	営業拡大	全国展開	新IT戦略	次期ステージ準備
施策	<ul style="list-style-type: none"> 標準化の推進 効率化の推進 人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> PR営業強化 M&A推進 育成システム 	<ul style="list-style-type: none"> 全国展開 新IT研究 (R/D部門の設置) グループ理念強化 	<ul style="list-style-type: none"> グループシナジー強化 新IT対応 上場対応強化 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺エリア進出 次期中期計画

5カ年事業計画(売上、利益推移とグラフ)

(単位:百万円)

	ブレイクスルー10							
	<実績>	<実績>	<実績>	今期見込	計画	計画	計画	計画
	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/5期	11/5期	12/5期
売上高	1,550	2,021	2,330	2,584	5,142	9,563	14,461	20,716
経常利益	39	110	143	152	211	432	689	1,000



売上高

200億円

経常利益

10億円

「ブレイクスルー10」は、ITASプレミアム・ITASスタンダードを含む既存事業に加え、ITAS周辺領域への事業拡大、M&A・資本提携などによる連結決算を見込んだ売上・利益計画です。

今後の課題

1. 経営基盤の強化（社内組織、人材育成）
2. 全国展開（営業強化）
3. 新IT技術への取り組み（利用技術の研究、開発）
4. M&Aの推進
5. 次のステージを目指す体制づくり



2007年5月期 実績報告

modulat

Copyright (C) 2007 modulat Inc. All Rights Reserved

2007年5月期(第8期)決算ハイライト

- ◆ 成長持続 : 7期連続の増収、3期連続の増益、4期連続の増配の実績
- ◆ 目標を未達 : 新規案件の多年度化、新サービス開始遅延、上場に伴う費用増
- ◆ 財務状況の改善 : 資産の増加、キャッシュの増大

(単位:百万円)

	07/05月期 第8期実績		07/05月期 期初予想		前年対比	達成率	06/05月期 第7期実績	
	金額	比率	金額	比率			金額	比率
売上高	2,330	100.0%	2,439	100.0%	15.3%	95.5%	2,021	100.0%
総利益	458	19.7%	578	23.7%	32.3%	79.2%	346	17.1%
経常利益	143	6.2%	172	7.1%	30.0%	83.1%	110	5.4%
当期純利益	81	3.5%	98	4.0%	26.4%	82.7%	64	3.2%

損益計算書

- ◆ 利益率の改善 :ITサービス／商品売上の売上総利益率から経常利益率まで全てで
- ◆ 更に厳格な手数料ビジネスの純額計上を指向

(単位:百万円)

	07/5期	前年 対比	06/5期
売上高	2,330	15.3%	2,021
(ITサービス売上)	710	40.2%	506
(商品売上)	1,620	6.9%	1,515
売上総利益	458	32.3%	346
売上総利益率	19.7%	—	17.1%
(ITサービス売上)	243	48.9%	163
総利益率	34.2%	—	32.2%
(商品売上)	214	17.4%	182
総利益率	13.2%	—	12.0%
販売管理費	319	42.2%	224
販管費比率	13.7%	—	11.1%
営業利益	138	14.0%	121
営業利益率	6.0%	—	6.0%
経常利益	143	30.0%	110
経常利益率	6.2%	—	5.5%
当期純利益	81	26.4%	64
当期純利益率	3.5%	—	3.2%

貸借対照表

- ◆ 大型サービス契約締結により、収益に直結している有形固定資産増
- ◆ 投資その他の資産：長期貸付金(17百万)と差入保証金(66百万)の回収により減少
- ◆ 上場による現預金の増加と上記の理由により、総資産が増加(自己資本比率48.7%)

(単位:百万円)	07/5期		06/5末			07/5期		06/5末	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
流動資産	658	54.7	533	78.7	流動負債	596	49.5	279	41.2
現預金	455	37.8	174	25.7	買掛金	76	6.3	102	15.1
売掛金	125	10.4	209	30.9	短期借入金(*)	222	18.5	84	12.4
たな卸資産	51	4.3	131	19.4	その他	297	24.7	92	13.7
その他	26	2.2	18	2.7	固定負債	21	1.8	145	21.5
固定資産	546	45.3	144	21.3	負債合計	618	51.3	424	62.7
有形固定資産 (減価償却累計額)	502 (49)	41.7	14 (31)	2.1	純資産	587	48.7	252	37.3
無形固定資産	12	1.1	18	2.7	資本金・ 資本剰余金	408	33.9	142	21.0
投資その他の 資産	31	2.6	111	16.5	利益剰余金 他	179	14.8	110	16.3
総資産	1,205	100.0	677	100.0	負債・純資産 合計	1,205	100.0	677	100.0

(*)短期借入金には、一年以内返済予定長期借入金、
一年以内償還予定社債含む

キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 前受金の増加、棚卸資産の減少による獲得
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 有形固定資産の取得による使用
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 株式の発行による収入、短期借入金による収入による獲得

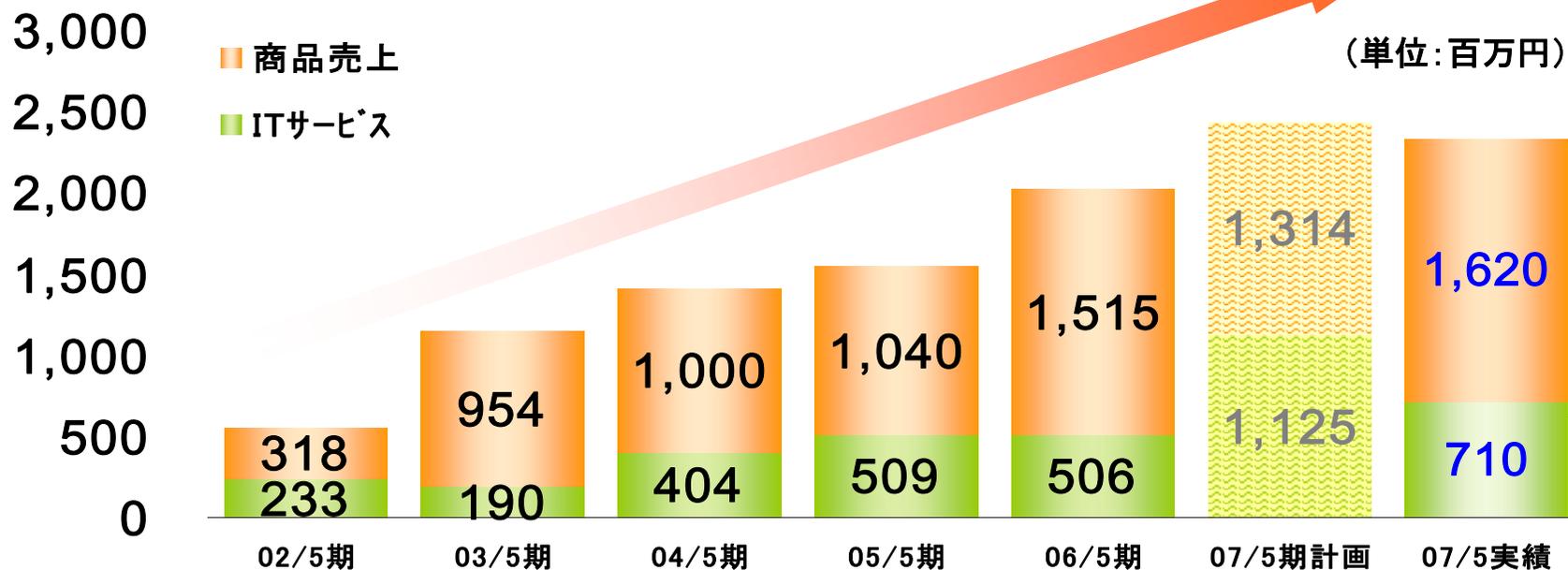
前事業年度より
現預金が281百万
(161.5%)増加

(単位:百万円)

区 分	07/5期	06/5期
営業キャッシュ・フロー	427	54
投資キャッシュ・フロー	△ 381	△ 16
財務キャッシュ・フロー	235	△ 175
現金及び現金同等物の期末残高	455	174

売上高の推移

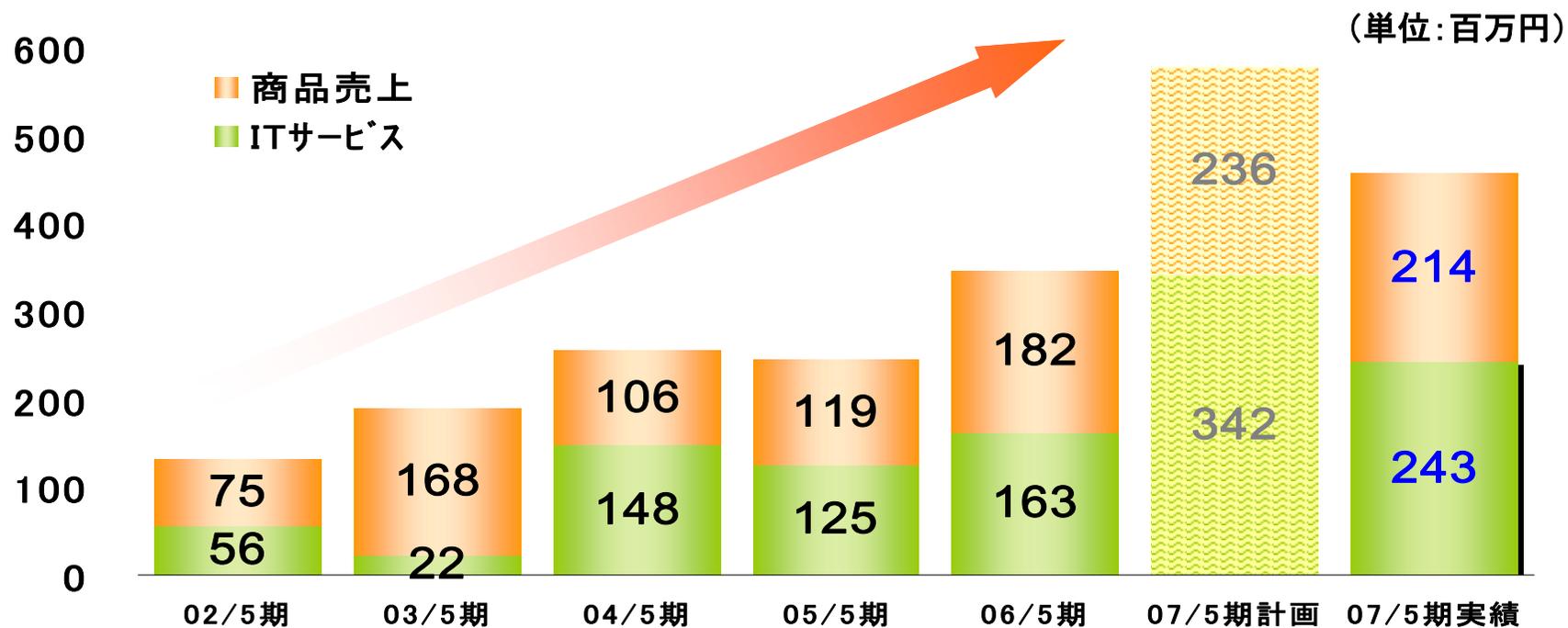
- ◆ ITサービス／商品売上共に順調な成長→特にITサービスは40%増
- ◆ 計画未達の主たる原因は新規案件の多年度化による収益の繰延べ
- ◆ 7期連続の増収



合計	552	1,145	1,404	1,550	2,021	2,439	2,330
対前年比	22.7%	107.4%	22.6%	10.4%	30.4%	20.7%	15.3%
商品売上	0.6%	200.0%	4.8%	4.0%	45.7%	-13.3%	6.9%
ITサービス	75.1%	-18.5%	112.6%	26.0%	-0.6%	122.3%	40.2%

売上総利益の推移

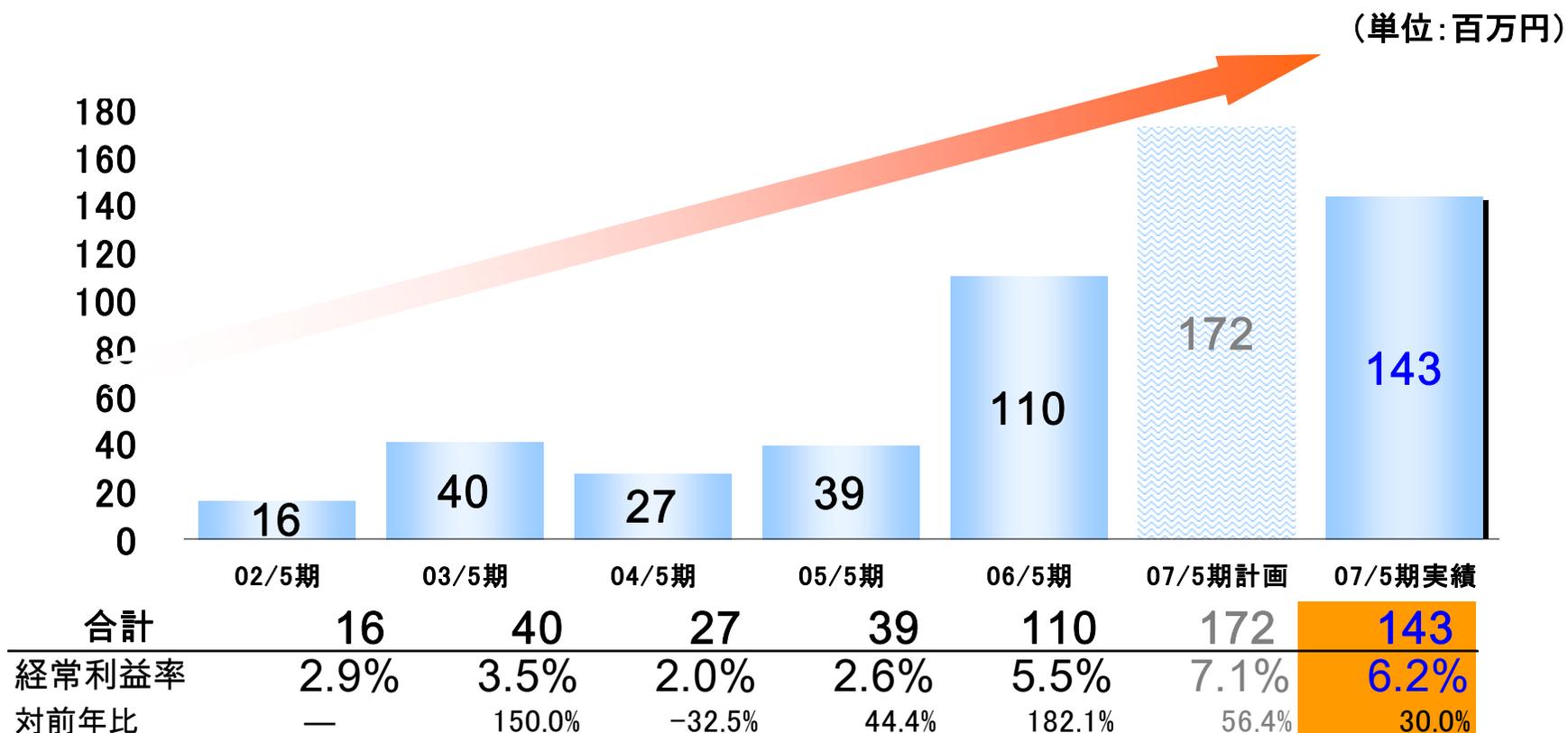
- ◆ ITサービスが50%超を占める
- ◆ 利益率が向上 : 特にITサービス(2ポイント増)はエンジニア現場の効率化効果
- ◆ ほぼ7期連続で増加傾向にある(05年05月期は特殊事情により微減)



合計	132	190	255	244	346	578	458
総利益率	23.9%	16.7%	18.2%	15.8%	17.1%	23.7%	19.7%
商品売上	23.6%	17.6%	10.6%	11.4%	12.0%	18.0%	13.2%
ITサービス	24.0%	11.6%	36.6%	24.6%	32.2%	30.4%	34.2%

経常利益の推移

- ◆ 前年対比30%増。3期連続の増収。経常利益率も0.7ポイント向上
- ◆ 計画未達の原因は前述の通りで一過性
- ◆ 経常利益率も標準化推進の効率化効果により3期連続の向上



その他指標の推移

- ◆ 顧客数・年間継続契約金額は、新規サービスの遅延により計画を下回るものの、継続サービスに注力したことにより前年対比大幅増
- ◆ 配当性向は過去最高益達成及び当社の配当性向重視方針により5%増

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期計画	07/5期実績
顧客数(社)	23	28	28	35	60	51
対前年	43.8%	21.7%	0.0%	25.0%	71.4%	45.7%
年間継続契約額 (百万円)	--	217	258	343	845	558
対前年	--	--	18.9%	32.9%	146.4%	62.7%
社員数(人)	24	30	32	36	60	52
対前年	41.2%	25.0%	6.7%	12.5%	66.7%	44.4%

	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期計画	07/5期実績
経常利益率	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	7.1%	6.2%
EPS(円)	4,893.05	1,574.06	2,720.13	6,853.98	7,153.00	5,970.68
配当性向	4.2%	20.0%	20.0%	16.4%	20.0%	24.8%